

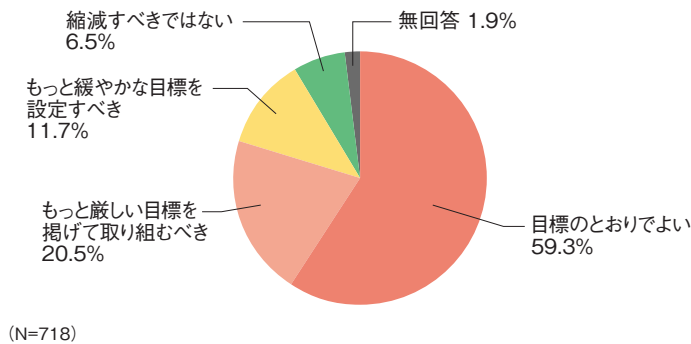
公共施設の未来

公共施設のあり方に関するアンケート

約8割が施設縮減に肯定的

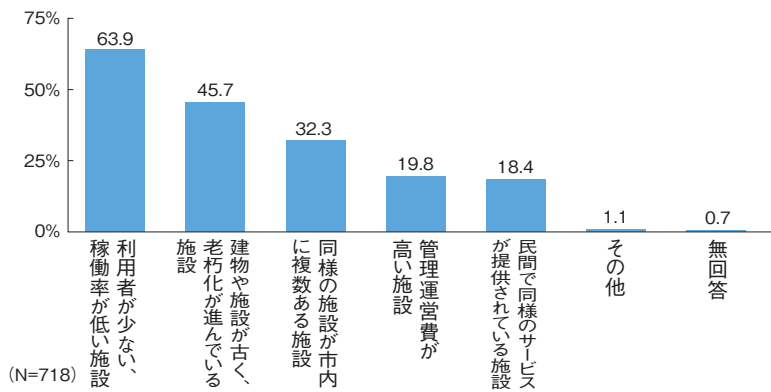
5月号に掲載しました「湖西市公共施設再配置基本計画」を策定する際に、公共施設のあり方について市民の皆さんの考えや意見を聞き、今後の公共施設について検討する参考資料とするため、市民アンケートを実施しました。ここでは、結果の一部についてお知らせします。集計結果は、市のウェブサイトでご覧いただけます。

- 調査対象 20歳～75歳の住民1500人(無作為抽出)
- 調査期間 平成28年7月
- 有効回収数 718票(回収率 47.9%)



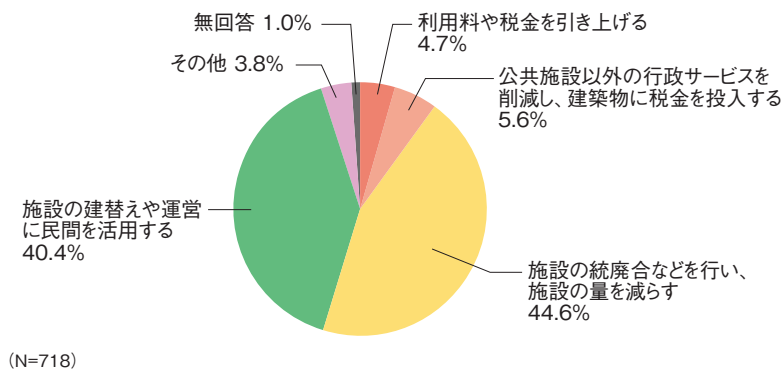
問 1

公共施設マネジメントの基本方針として、将来にわたり真に必要なとなる公共サービスを持続可能なものとするため、今後30年間で公共施設の総延床面積を20%縮減することを目標としています。あなたは、このことをどのように思いますか。



問 2

将来的に公共施設を減らしていく場合、どのような公共施設から統廃合・複合化を行えばよいと考えますか。(複数回答可)



問 3

将来にわたり公共施設を持続させるために、どのような取り組みを進めるべきとお考えですか。

このアンケート結果をみると、施設の総量縮減についておよそ8割の市民が肯定的であることや、利用者が少ない施設や稼働率が低い施設を優先的に統廃合・複合化を行うべきと考えている人が多いことがわかりました。

※グラフ数値は四捨五入しているため、100%にならない場合があります。